



編集後記

- 今回が第 23 号の発行となります。皆様には広島文教大学人間福祉学会のホームページより閲覧いただいていることと存じます。ホームページ及び本紀要の存在について、是非多くの方々にお報せいただきますようお願いいたします。
- 本誌を発行できるのは、多岐にわたる学会の活動をお手伝いいただく会員の皆様と投稿者の皆様のおかげです。今回もご投稿をいただき、ありがとうございました。今後は、卒業生の皆様からの投稿も是非お待ちしております。
- 「伝えたいことがある」、「皆に聞いてほしい」、「問いかけたいことがある」という方、ぜひ編集委員にご相談ください。また、内容にご意見等ありましたら遠慮なくお寄せください。
- 今年度は、2 資格以上の立場を経験した卒業生 3 名をシンポジストに迎え、「国家資格の違いからとらえる福祉専門職の役割について考える」をテーマに人間福祉学会を開催しました。国家資格によって専門性が異なっていたとしても、福祉の根幹は共通しています。その基盤となる学びの大切さを再考できる機会となりました。在校生も多く参加し、自身のリアルな将来像を掴む良い機会となりました。
- 2021 年度から社会福祉士・精神保健福祉士の新カリキュラムが始まり、今年度は改正後はじめての国家試験でした。本学 4 年生のうち、68%が社会福祉士の国家試験に合格することができました。
- 卒業生の皆様には、是非実習指導者の講習を受講していただき、後輩をご指導いただきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- しばらく足が遠のいていた皆様も是非キャンパスに一度足をお運びください。皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。

広島文教大学 人間福祉学会

『人間福祉研究』編集委員（太原 牧絵 五百竹 亮丞）